

	年度	会議名	主催者	開催時期	開催場所	会議の概要	会場での参加人数
1	R6	第9回全球エネルギー水循環プロジェクト国際会議	第9回全球エネルギー水循環プロジェクト国際会議組織委員会及び全球エネルギー水循環プロジェクト国際事務局、日本学術会議	令和6年7月7日～14日	札幌市	「地球表面と大気におけるエネルギー及び水循環」をメインテーマに、「地球温暖化」、「気候変動の実態把握と予測」、「水・エネルギー問題」、「気候変動対策」、「人工衛星による地球観測」、「アジアモンスーン」、「気候モデリング」、「極端気象」などを主要題目とした研究発表と討論が行われる予定。	700名程度
2	R6	太平洋クロマグロの管理に関する全米熱帯まぐろ類委員会(IATTC)・中西部太平洋まぐろ類委員会(WCPFC)北小委員会の合同作業部会及びWCPFC第20回北小委員会	IATTC及びWCPFC(北小委員会はWCPFCのみ)	令和6年7月10日～16日	釧路市	中西部太平洋の高度回遊性魚種に関する会議。	150名程度
3	R6	第40回アジア競馬会議	日本中央競馬会	令和6年8月27日～9月1日	札幌市	アジア・オセアニア・中東など28の競馬実施国(地域)が加盟する「アジア競馬連盟」(ARF)において、16～30ヶ月毎に開催される世界規模の競馬会議。	800名程度
4	R6	Global Offshore Wind Summit-Japan2024	一般社団法人日本風力発電協会	令和6年9月3日～4日	札幌市	GWEC(80カ国以上の1,500以上を超える風力エネルギー部門の企業、機関で構成)が中心となり開催される国際的な風力発電(特に洋上風力発電)をテーマとするイベント。	700名程度
5	R6	Workshop on Work Engagement and Well-being in the Public Service	人事院	令和6年10月9日～12日	札幌市	ACCSM(ASEAN公務協力会議)+3(日中韓)の協力事業の一つとして、公務員制度に関連する各国共通の課題に対する解決策を見出し、また実践的な協力関係を促進するため、各国代表者等が議論を行うワークショップ。	60名程度
6	R7	第34回光子電子原子衝突に関する国際会議/the 34th International Conference on Photonic, Electronic and Atomic Collisions	ICPEAC XXXIV組織委員会	令和7年7月29日～8月5日	札幌市	光子・電子・イオン等の衝突について公開講演、基調講演やポスターセッション等を行う国際シンポジウム。	550名見込み
7	R7	FHS International Conference	北海道大学大学院保健科学研究院	令和7年夏～秋	札幌市	海外の研究者の招待講演及び大学院生のポスターセッションをメインとする国際シンポジウム。	250名程度

※ このほか、向こう5年間（令和6～10年度）に、北海道で開催する可能性のある国際会議等が6件ある。

※ 1、2は令和6年7月30日現在において開催済み。

出典：国土交通省北海道局調べ

注1：国の機関等とは、各省庁、地方支分部局、各省庁が所管する独立行政法人、特殊法人などのことを指す。

2：本資料の「国際会議等」は参加者総数10名以上、参加国数は日本を含む2カ国以上を対象としている。